

1. 調査対象事例等

ア) 各種の計画, 条例・要綱, 事業計画等の策定, 制定にあたり取り組みを行った事例

区分	事業	内 容
1 ・ 公 募 委 員	委員の公募を行っている事例	
	富里市公募型補助金審査会委員 (企画課)	富里市公募型補助金審査会を設置するにあたり, 審査委員5名中2名を公募した。
	富里市行政改革懇談会委員 (企画課)	富里市行政改革懇談会を設置するにあたり, 懇談会の委員8名中2名を公募した。
	(仮称)富里市協働のまちづくり 条例検討委員会委員 (企画課)	(仮称)富里市協働のまちづくり条例検討委員会を設置するにあたり, 検討委員15名中8名を公募した。
	富里市介護保険運営協議会委員の公募 (高齢者福祉課)	富里市介護保険運営協議会委員のうち, 被保険者の代表として1名を公募した。
	富里市介護相談員の公募 (高齢者福祉課)	富里市介護相談員を設置するにあたり, 相談員として活動してくれる方(6名中2名)を公募した。
2 ・ 市 民 説 明 会 等	市民説明会, ワーキンググループを開催している事例で概ね5年以内に実施した事例	
	放課後児童クラブ保護者説明会 (子育て支援課)	地区代表者と保護者からの要望により, 放課後児童クラブについての説明会を実施した。 【場所】富里第一小学校体育館 【参加人数】地区代表者・学校関係者・保護者(約30名)
	(仮称)北新木戸公園ワークショップ (都市計画課)	七栄新木戸地区の区画整理区域内に公園を整備するにあたり, 多くの人が訪れ, 交流する賑わいのある拠点とするため, ワークショップ形式で市民の皆さんから意見をいただきました。 【場所】市役所分庁舎及び類似公園視察 【参加人数】12人 【開催回数】平成17年9月21日~平成19年5月21日まで9回開催
3 ・ 意 見 の 公 募	パブリックコメント等により意見を公募している事例	
	富里市国民保護計画 (総務課)	富里市国民保護計画の作成にあたり, パブリックコメントを実施し, 意見を公募した。 【パブリックコメント実施期間】平成18年12月4日から12月22日 【寄せられた意見】なし
	富里市障がい者基本計画・障がい福祉計画 (第2期)の策定 (社会福祉課)	平成19年3月には障害者自立支援法に基づく障害福祉計画として「富里市障がい福祉計画(第1期)」を平成20年度までの計画として策定した。本市では計画策定にあたり, 障害をお持ちの方々(団体等)の代表や有識者で構成する『富里市障がい福祉計画策定委員会』やパブリックコメントにより意見をいただいた。 【パブリックコメント実施期間】平成19年2月19日から2月28日 【寄せられた意見】1名(内容6件) 【閲覧方法】市役所本庁舎1階社会福祉課, 日吉台出張所及び市ホームページ
	富里市障がい福祉計画(第1期)の策定 (社会福祉課)	平成11年3月に障害者基本法に基づき市の障害者基本計画である「富里市ノーマライゼーション推進プラン」を概ね平成21年度までの計画として, また, 平成19年3月には障害者自立支援法に基づく障害福祉計画として「富里市障がい福祉計画(第1期)」を平成20年度までの計画として策定した。障害者自立支援法の施行により新たな障害保健福祉体系が構築されたこともあり, 平成20年度この両計画を同時に見直し, 両計画を一体化した「富里市障がい者基本計画・障がい福祉計画」を策定することとした。この計画の作成に際し, パブリックコメントを実施した。 【パブリックコメント実施期間】平成21年1月9日から1月28日 【寄せられた意見】1名(内容2件) 【閲覧方法】市役所本庁舎1階社会福祉課, 日吉台出張所及び市ホームページ

富里市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定 (高齢者福祉課)	富里市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に伴い、パブリックコメントを実施し、意見を公募した。 【パブリックコメント実施期間】 平成 20 年 11 月 18 日から 12 月 2 日 【寄せられた意見】 1 件
富里市耐震改修促進計画の策定 (都市計画課)	富里市耐震改修作新計画の作成にあたり、パブリックコメントを実施した。 【パブリックコメント実施期間】 平成 19 年 12 月 3 日から 12 月 28 日 【寄せられた意見】 なし

イ) 各種の活動(福祉,環境,生涯学習等)やイベント等で取り組みが行われている事例

区分	事業	内容	課題
4 財政的支援	市民が主体となって企画運営を行っている活動等に補助金、消耗品の供与等の支援を行った事例で下記のいずれかに該当する事例 ・富里市として特長的な取り組み事例 ・概ね5年以内に新規又は大幅に見直して実施した事例		
	富里市区長会事業補助金 (総務課)	【目的】 市内地域行政の合理化と能率化を図るため、富里市区長会が行う各小学校区のコミュニティ活動に対する補助をしている。 【時期】 第1四半期 【規模】 300,000円(対象:全小学校区) 【協働・市民参画】 各学区において、市民が地域子どもたち等の安全を確保するための防犯活動や地域コミュニティ促進のための活動を自主的に実施している。	昨今、地域コミュニティにおける問題点として、区・自治会への加入者が減少傾向にあることがあげられる。 地域コミュニティの衰退は、協働・市民参画という観点から今後の市政の円滑な運営を図る上で重要な問題であるが、市としても、また区・自治会としても自主加入を促すための方策が難しいのが現状である。 地域への助成制度に関しては、現在、市政協力員の集合体である「区長会」に各学区における活動に対しほぼ一律的に助成しているが、地域により活動の規模や形態は様々であり、地域の活動実態に即した助成制度の確立が今後の検討課題である。
	富里市防犯指導員連合会補助金 (総務課)	【目的】 犯罪のない明るいまちづくりを地域ぐるみで推進するため、成田防犯連合会防犯指導員部富里市部会(富里市防犯指導員連合会)に対し、防犯関連活動資金として補助している。 【時期】 第1四半期に一部概算払いし、年度末の実績報告をもとに残額支給 【規模】 576,000円(防犯指導員総人数:85名) 【協働・市民参画】 市主催事業等への協力 ・富里市すいかまつり警備 ・富里スイカロードレース大会警備 ・社会を明るくする運動 ・ふるさとまつり警備 ・富里市産業まつり警備 ・その他、防犯パトロールの実施・小学校での防犯教室の開催	市内においては、現在助成を行っている当団体のほかに、各学区で自主的に発足された防犯パトロール隊も存在し、活発な防犯活動を行っているが、市としては特に財政的な支援は行っていない。 しかしながら、近年、凶悪な犯罪が多発する中で、こういった地域住民による地道な防犯活動が犯罪の抑止に繋がることが実績として評価され、その重要性が高まってきており、より活発な活動が求められているが、活動に必要な資金や物資調達の面で苦慮しているという声が多い。 市としても、今後も安全で安心なまちづくりを推進するために、このような地域での活動に対する財政的な支援等について検討する必要がある。
	環境美化推進協議会主催「ポイ捨てナイナイキャンペーン」 (環境課)	富里市環境美化推進協議会の呼びかけにより、「ごみを捨てさせない活動」として、ごみのポイ捨てや散乱防止を訴える「ポイ捨てナイナイキャンペーン」を実施し、市民による市内約200箇所へのポイ捨て防止のぼり旗の設置や主要道路に横断幕を設置するなど、期間中に富里市を通る市民等にポイ捨ての防止を呼びかける活動や、地域住民による街頭啓発パレードを実施している。 平成20年度実績 期 間 9月7日(日)~26日(金) 設置数 のぼり旗:217本 横断幕:8幕 街頭啓発パレード 参加者数:198名	駅など多くの市民が集まる場所がないため、街頭啓発パレード実施効果が住民密集地でない場所などでは、薄いと考えられる。 また、地域の特性に合った該当啓発を行うことが重要である。

<p>富里国際交流協会 (企画課)</p>	<p>市民と世界各国の人々との交流がより円滑に進められるよう推進し、国際的な相互理解と国際親善を深めることを目的として活動している富里国際交流協会が実施する各事業に対し財政的、人的支援を行っている。</p> <p>【20年度事業】 交流事業〔春のピクニック(4月)、ジャズフェスティバル(8月)、アメリカホームステイ体験ツアー(10月)、日本語教室研修ツアー(11月)、ニューイヤーパーティー(1月)、ワールド・フード・コミュニケーション(7月・11月)〕</p> <p>(財政的支援) 富里国際交流協会補助金交付要綱に基づき、年間1,600,000円の補助金を交付している。</p> <p>(人的支援) 富里国際交流協会の役員が中心となって企画し、会員等が運営を行っており、市では、申込み等問合せ先として対応し、当日の運営の協力(後方支援)をしている。</p>	<p>富里国際交流協会内での高齢化や人材不足により、事業を継続的に実施するためには、市からの更なる援助を期待する声もある。(特にホームステイ事業)</p> <p>また、各課等において「協働・市民参加」に対する認識がさまざまなため、各種団体やボランティアから、担当課への不満が出ている。</p>																
<p>アダプトプログラム(道路の里親制度) (環境課)</p>	<p>市民が、道路に散乱している空き缶やタバコの吸い殻等ごみの収集を行うボランティア制度。市と合意書を交わし、自ら決めた一定区間の道路の「里親」となり、市民がその道路に散乱するゴミを拾い、市はその回収やゴミ袋の支給及び清掃用具の貸与を行う。</p>	<p>登録者数は確実に増えているが、地域格差があり、特に南部地区については、更なる普及活動が必要である。また、ポイ捨て自体が減少しないため、市民に対しポイ捨て防止の啓発活動を併せておこなっていくことが重要である。</p>																
<p>富里市公募型補助金 (企画課) 再掲</p>	<p>平成19年度より、地域に根ざしたまちづくりの実現に向けて、市民の創意工夫により、生きがいと魅力あるまちづくりを目指す、市民団体等の自主的・主体的に行う事業に対して、経費の一部を補助する。</p>	<p>募集をしているが応募が少ない状況である。</p> <p>平成21年度末で補助金要綱が終了するため、今後、より多くの団体等がこの補助金制度を活用できるよう検討が必要である。</p>																
<p>外国語推進事業 (生涯学習課)</p>	<p>事業の目的 富里市の子どもたちをはじめ、多くの市民の方が、外国の文化に触れ、英会話に親しむ機会を通じて、国際対話能力の素地と広い視野で異文化を理解し“共に生きていく”資質や能力を涵養することを目的とする。</p> <p>・とみさとザ・ワールド・キッズ 規模・参加人数 参加者 8小学校区 179名 運営委員数 43名 活動回数 平均8.4日</p> <p>・英会話の日 規模・参加人数</p> <table border="1" data-bbox="786 1270 1706 1423"> <thead> <tr> <th></th> <th>第1回</th> <th>第2回</th> <th>第3回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日</td> <td>7月6日</td> <td>9月27日</td> <td>2月8日</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>202名</td> <td>198名</td> <td>427名</td> </tr> <tr> <td>役員数</td> <td>25名</td> <td>25名</td> <td>20名</td> </tr> </tbody> </table> <p>協働・市民参加 とみさとザ・ワールド・キッズにおいては、企画・運営について、英会話の日においては、受付や運営などの役員としてご協力いただいている。</p>		第1回	第2回	第3回	開催日	7月6日	9月27日	2月8日	参加人数	202名	198名	427名	役員数	25名	25名	20名	<p>「とみさとザ・ワールド・キッズ」の各地区に設置している運営委員会の負担が大きくなり、運営委員の確保が困難なことがあげられ、運営委員の負担や活動場所の確保等が大きな課題となっている。</p>
	第1回	第2回	第3回															
開催日	7月6日	9月27日	2月8日															
参加人数	202名	198名	427名															
役員数	25名	25名	20名															

5 人的 支援	市民が主体となって企画運営を行っている活動等に対して、市職員が実際に参加や分担して協力するなどを行った事例	
	富里国際交流協会事業 (企画課) 再掲	
	社会を明るくする運動 (社会福祉課)	<p>【目的】 すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的運動。7月を「社会を明るくする強調月間」とする。</p> <p>【時期】 毎年7月1日 街頭キャンペーン</p> <p>【規模】 協力団体 7団体(保護司会・更生保護女性会・BBS・教育委員会・防犯指導員連合会・PTA・民生児童委員連絡協議会) 約150名(平成19年度 177名,平成20年度 136名)</p> <p>【内容】 実行委員会により、社会を明るくする運動の実施方法を検討し、各団体が該当キャンペーンを実施。また、社会を明るくする運動に係る作文の依頼について、保護司が各小中学校を訪問し、校長に依頼している。市は、事務局としてキャンペーンの消耗品など事前準備をするとともに、広報車の運転、関係機関等への依頼など協力する。</p>
	障がい者フェスティバル (社会福祉課)	<p>【目的】 平成16年6月の障害者基本法の改正により、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、毎年12月3日から12月9日までの1週間を「障害者週間」としている。これにあわせ、障がい者フェスティバルを実施することにより、障害者の福祉についての関心と理解を促進する。</p> <p>【時期】 毎年12月第2土曜日</p> <p>【規模】 障害福祉団体、来客など 約150名</p> <p>【内容】 実行委員会により、障がい者フェスティバルの実施方法を検討し、各団体が役割分担し実施。10回を迎えているが、内容は、カラオケ、劇などの発表をしている。市は、会場の貸出や会場準備の手伝いなど、人的な協力をしている。</p>
福祉まつり (社会福祉課)	<p>【目的】 誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを一緒に考え、また、市民の福祉への理解を促進するため、福祉のPRの場として、福祉団体やボランティア団体が協力し合い福祉まつりを実施。</p> <p>【時期】 毎年 文化の日</p> <p>【規模】 参加団体23団体 従事者258名</p> <p>【内容】 実行委員会により、福祉まつりの実施方法を検討し、各団体が役割分担し実施。市職員は、参加団体のひとつとしてイベントに参加しており、売上げの一部を社会福祉協議会に寄附している。</p>	

保護司会・更生保護女性会・BBS・PTA・民生児童委員連絡協議会などが、積極的に該当キャンペーンを実施しているが、啓発に係る消耗品などが市の財政事情から十分に用意ができない状況となっており、啓発物資の一部についても団体が経費を捻出しなければ、実行ができなくなっている。

障がい者フェスティバルを実施することにより、障害者の福祉についての関心と理解を促進することを目的としているため、広報等を活用し参加を呼びかけているが、一般客の来場が少ない。

	<p>富里のほたるを守る視察研修 (環境課)</p>	<p>ほたるの保護を目的に活動している「富里のほたるを守る会」では、年1回、ほたるの保護を積極的に進めている地区を視察し研修を行っている。 視察研修地選定等の企画運営はほたるを守る会が主体となって行っており、市は市有バスの提供を通して支援を行っている。 平成20年度実績 実施日 平成20年6月20日 視察先 群馬県東吾妻町 参加人数 33名</p>	<p>会の活動としては、自立的に活動を行っており、将来的には視察研修についても自立した活動が望まれる。</p>
	<p>街角花いっぱいボランティアグループ (環境課)</p>	<p>市内8ヶ所の花壇やプランタ-に、自ら育てた季節の花を植栽し、市民や市内を通行する人にごみのポイ捨て防止を呼びかけているボランティア団体で約90名が活動している。花の植栽以外にもリサイクルフェアなどのイベントに参加して、環境美化の啓発に取り組んでいる。</p>	<p>メンバーが固定化している。 発足時のポイ捨て箇所とは、現状が変わってきていることもあり、活動の見直しも必要である。</p>

6 市民参加	市又は市が中心となった実行委員会等が行っている事業等で大部分又は重要部分を市民参加・協力により実施している事例。	
	社会を明るくする運動 (社会福祉課) 再掲	-
	地区保健推進員協議会 (健康推進課)	<p>地区保健推進員は、市民の健康増進のための健康づくり事業や栄養改善事業の推進を図ることを目的として、地区の区長より推薦を受けた後に市長より委嘱を受けて活動している。</p> <p>この中で、各種事業の行政協力の他、地域の特性やニーズにあった形での地区活動を展開している。</p> <p>【平成 20 年度事業実績】 推進員：52 名 地区活動 開催回数 延べ 34 回（内訳 / 介護予防 14 回・育児支援 20 回） 参加者数 延べ 917 名</p> <p>(一例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南平台地区健康講座 メタボ予防体操・野菜をおいしく食べよう（試食）17 名 ・東七栄いきいきクッキング（健脳食メニュー・脳トレクイズ）47 名 ・子育てきらきら（南小学区子育て交流会） 地区社会福祉協議会事業に協力 28 組 61 名 <p>なお、全体を 6 つの小校区に分けており、地区単位での活動の他、学区単位でも活動している。</p>
	いずみつくし会 (糖尿病事後育成) (健康推進課)	<p>いずみつくし会は、市で開催した糖尿病予防教室に参加後、生活習慣病を自ら予防することを目的としてされた会である。具体的には、年間で活動計画を立て、血糖値をコントロールするための運動習慣や、日常生活の中で乱れがちな食生活習慣の見直しが図れるように会員自らが参画している。結成から 20 年以上経過した現在も、新たな会員を交えて活動を継続しており、介護の原因疾患となる糖尿病の重症化や合併症の予防につなげている。</p> <p>【平成 20 年度の事業結果】 会員数：52 名（平成 21 年 4 月 1 日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩け歩け（春・夏・秋） 3 回 (コースは 5～6km 程度をマイペースで歩き、血糖値のコントロールを確認する機会とする。) 参加人数 / 延べ 50 名 ・定例学習会 2 回 「健診結果について」・「栄養面の学習（調理実習など）」・「合併症の予防について」 参加者数 / 延べ 30 名 ・役員会 4 回 ・健康まつりにて活動の PR
	ゴミゼロ運動 (環境課)	<p>毎年 5 月 30 日を基準とする日曜日に市内全域を対象とした清掃活動。</p> <p>市民の協力により、集積場所を市内数箇所に設置し、市民により集められたごみを市が回収する。</p>
外国語推進事業 (生涯学習課) 再掲	-	

推進員は、全地区に設置されていないのが現状であり、活動領域にバラつきがある。

今後、少子高齢化が進むにつれ、地域におけるコミュニケーションの場や市民が自ら健康づくりへの関心を高めていけるような取り組みが大切であるが、その目的にたったボランティア活動が地域に根付くための方策の検討が必要。

本市の 1 人あたりの医療費に占める糖尿病の通院費は、県内の平均と比較して高く、今後高齢化が進むにつれ、予防の視点に立った生活習慣の見直しを広く呼びかけて市民の健康意識を高めていくことが重要である。自分ひとりではなかなか取り組みえないなど、できるようできないのが健康づくり活動なので、今後もこの芽を地域に広げていければと思う。

回収対象物は道路上の散乱ごみとなっているが、粗大ゴミなども多く出される。

また、地域により市民の収集体制が違うため、回収物の内容や回収に要する時間が違う。

<p>スイカロードレース (生涯学習課)</p>	<p>【事業等の目的】 富里市の特産品であるスイカの最盛期において全国的なロードレース大会を実施することにより、富里市民と全国スポーツ愛好者との交流と親睦を図るとともに、「富里スイカ」の普及を促進し、もって、富里市の地域振興に資するものとする。</p> <p>【時期】 6月第4日曜日</p> <p>【規模・参加人数】 参加定員 12,000名 競技役員数 約1,500名(第25回大会)</p> <p>【協働・市民参画】 選手受付係、給水所係、駐車場係など、競技役員としてご協力いただいている。</p>	<p>競技役員としてご協力いただいている方の多くは市民である。大会を運営するにあたり、今後も現在の競技役員数が確保できるかが課題である。</p>
<p>とみさとスポーツ健康フェスタ (生涯学習課)</p>	<p>【事業の目的】 市民の誰もが気軽に参加でき、健康・体力づくりに対する理解と関心を深め、積極的にスポーツを実践するとともに、市民相互の協調と親睦を図り、健康で明るい市民生活の推進を図る。</p> <p>【時期】 9月第1日曜日(スポレク大会)及び体育の日</p> <p>【規模・参加人数】 参加者 スポレク大会331名、フェスタ651名、合計982名 競技役員数 スポレク8名、フェスタ55名、合計63名 会議 5回、のべ33名</p> <p>【協働・市民参加】 イベントの企画、種目の選定等についての会議、大会当日は選手受付や運営などの競技役員としてご協力いただいている。</p>	<p>現在は、参加者や競技役員については、市内スポーツ団体を中心に依頼しているが、計画段階から市民の参画を促し、主体性を持って市民自ら運営してもらえよう環境を整え、より多くの市民に積極的に参加いただけるよう取り組むことが必要である。</p>
<p>図書館ボランティア「もりのなか」おはなし会 (図書館)</p>	<p>「もりのなか」は、平成15年度に図書館が募り、平成16年度より図書館児童サービス担当職員とともに活動しているボランティアグループ。</p> <p>小学校・中学校などで、子どもたちに絵本や昔話の楽しさを伝えるために絵本の読み聞かせや昔話などを語るおはなし会を行っている。</p> <p>学校からの要望により年間を通し実施している。</p> <p>平成20年度(見込み) 実施日数35日 ボランティア人数延べ162名 実施人数延べ5,214名(167クラス)</p>	<p>学校からの実施希望が増え、メンバーの増員を望む声が出ている。</p>
<p>ブックスタート (図書館)</p>	<p>図書館が主体となり、健康推進課・子育て支援課・市民課と図書館ボランティア「もりのなか」が連携し、赤ちゃんに絵本を楽しんでもらうとともに、絵本を通して親子のふれあいの時間をつくるきっかけとなるよう実施している事業。毎月1度保健センターで行われる4か月児健康診査時に、赤ちゃんと保護者一組ごとにボランティアが図書館の選んだ「赤ちゃん絵本」1冊を読み聞かせし、赤ちゃん絵本のブックリストや図書館の利用申込書および利用案内、子育て応援ブックを手渡している。</p> <p>毎月 ボランティア5名 子育て支援課職員1名 図書館職員2名 対象人数 毎月40組前後 20年度実施数(2月まで)381組)</p>	

ウ)その他

区分	事業	内容	課題
7 ・ 広 報 ・ 公 聴	事業等の広報・周知活動、公聴活動で富里市として特長的な取り組み事例		
	市長と市長室で語り合いませんか？ (総務課)	市民一人ひとりの生の声を大切に、市民と一体となったまちづくりを推進するため、直接、市民から市政に関する意見等を聴き、行政と市民の相互理解を深めるとともに、市民からの行政に対する意見を今後の行政施策に反映することを目的に、平成 17 年度までは「ふれあい市民懇談会」と称し行っていたが、より市民と市長が近い立場で意見が交わせるよう市長室を開放し、懇談を行う。 このことにより、市民と行政のコミュニケーションを活性化させ、住民本位の行政運営が期待できる。 【実績】 平成 18 年 4 月 18 日 6 名参加 平成 19 年 1 月 31 日 13 名参加 平成 20 年 現在のところ不開催	開催が不定期である。 市長室開放にあたり安全対策が整っていない。
	市長への手紙 (総務課)	市の施策に対する市民の意向を把握するため、市長の手紙を作成し、市内公共施設等へ設置する。 このことにより、市民が自由に提案や意見を述べるができる環境づくりを進めるなど広聴機会の充実を図ることができ、市民と行政が協働する地域社会を実現することができる。	
ふれあい市民アンケート (企画課)	市民と行政が協働する地域社会を実現するため、市の施策に対する市民の意向を簡易に把握し市の施策に市民の声を反映させることを目的としている。 アンケートは、あらかじめ登録した市民に対して行い集計結果を公表することとしている。 〔実績〕 ・平成 20 年度(12 月実施) アンケート回数 1 回 登録者 78 名 ・平成 19 年度 アンケート回数 なし 登録者 0 名 ・平成 18 年度 アンケート回数 なし 登録者 0 名 平成 18 年度・平成 19 年度は、各課等へアンケート予定を調査して実施予定がなかったため登録者なし	アンケートの客体が少数のため、市の施策へどこまで反映させられるのかが現状では疑問である。 実施する課が集計作業等をするため事務量が多くなる。	
8 ・ そ の 他	上記以外で協働、市民参画と関りが深い取り組み事例		
	市民意識調査 (企画課)	総合計画の策定にあたり、市民の意見を反映させた計画づくりのため、市民参加の手法の一つとして行った。 〔実績〕 平成 20 年 11 月 17 日～12 月 12 日 発送総数 5,000 票 有効回収票数 1,988 票(回収率 39.9%)	計画策定のための民意の的確な把握や多様な意見を把握するために必要であると考える。 回収率の向上が課題である。
	ふれあい講座 (企画課)	市民に市政に対する理解を深め、市民参加の行政を推進し市民が進んで学習できる環境を整備することを目的として講座を実施している。 講座は、市民団体等の求めに応じて市職員を説明員として派遣し市政に関する情報を提供している。講座のメニューは、市民のニーズに応じた内容とし市民が積極的に講座を活用できるように毎年度見直しをしている。平成 20 年度の講座メニューは、「まちづくり」や「税・保険」、「健康・福祉」など 7 つに分類し 48 のテーマとしている。 〔実績〕 ・平成 20 年度 講座開催数 29 回 参加人数 640 名 (@22 名) ・平成 19 年度 講座開催数 16 回 参加人数 517 名 (@32 名) ・平成 18 年度 講座開催数 24 回 参加人数 823 名 (@34 名)	講座に参加した市民が次の行動へ展開できるようになって行く必要がある。 受講者の満足度等を把握していない。